

VI 検査課の業務概要

当検査課では「千葉県検査業務運営要領」に基づき検査業務を実施している。

令和7年度に実施した業務は、臨床及び細菌検査業務、食品衛生検査業務、健康危機管理業務、精度管理事業であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてHIV抗原抗体検査36件、性感染症対策として梅毒検査を37件、肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査を37件、B型肝炎ウイルス抗原検査を37件実施した。また、原子爆弾被爆者検診に係る検査として尿検査を4件実施した。

(2) 細菌検査

平常時対策としての腸内細菌検査は、給食従事者・食品取扱業者・水道施設従事者及びその他に対する赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌検査を1,418件、腸管出血性大腸菌O157検査を1,620件実施し、サルモネラ属菌を検出した。

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品衛生法に基づき、収去食品等（豆腐・大豆加工品、給食、弁当・惣菜、旅館ホテル調理品、カットフルーツ、洋生菓子、調理パン等）について検体数165件759項目実施した。

(2) 乳類規格試験

市販の牛乳について、3件、18項目検査を実施した。

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

腸管出血性大腸菌型不明1事案について、接触者1検体実施した。

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

16事案について、便148検体1,364項目、ふきとり12検体240項目検査を実施し、黄色ブドウ球菌、ウエルシュ菌、カンピロバクター属菌、ノロウイルス、ロタウイルスを検出した。

4 精度管理事業

食品衛生検査の信頼性を確保するため、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

(1) 内部精度管理

繰り返し試験と食品検査毎に添加回収試験、陽性対照試験を実施し、良好な結果であった。

(2) 外部精度管理

食品薬品安全センター主催の調査に7回7項目参加し、良好な結果であった。千葉県衛生研究所主催の腸内細菌科細菌の菌種の同定（腸管出血性大腸菌/サルモネラ属菌）及びノロウイルス検出について参加し、良好な結果であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
血液	梅毒	TP 法	37	43	37
		STS 法	37	43	37
	HIV 抗原・抗体		37	41	36
	HCV 抗体		39	38	37
	HBs 抗原		40	40	37
尿	糖		4	6	4
	蛋白		4	6	4
	ウロビリノーゲン		4	6	4
	潜血		4	6	4
便	寄生虫	塗抹鏡検	—	—	—
		ぎょう虫卵	—	—	—

(2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
令和 5 年度	3,256	1,012	70	164	2,010
令和 6 年度	3,156	1,068	81	0	2,007
令和 7 年度	3,038	1,073	67	12	1,886
赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※	1,418 (1)	438	33	6	941 (1)
腸管出血性大腸菌 0157	1,620	635	34	6	945
その他の菌	—	—	—	—	—

※サルモネラ属菌は希望者のみに実施

() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表 2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
検 体 数		186	172	165
項 目 数		850	793	759
項目内訳	細菌数（生菌数）	186	172	165
	大腸菌群の有無	179	168	158
	黄色ブドウ球菌	158	148	140
	サルモネラ属菌	135	127	121
	腸炎ビブリオ	29	28	28
	腸炎ビブリオ最確数	10	10	10
	カンピロバクター	19	17	17
	E.coli の有無	7	4	7
	E.coli の最確数	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	127	119	113
	腸管出血性大腸菌 026	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0111	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0103	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0145	—	—	—

(2) 乳類規格試験

表 2 - (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
検体数		3	3	3
項目数		18	18	18
項目内訳	細菌数（生菌数）	3	3	3
	大腸菌群の有無	3	3	3
	比重	3	3	3
	酸度	3	3	3
	無脂乳固形分	3	3	3
	乳脂肪分	3	3	3

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

表 3 - (1) 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他 (便以外)
			経過者 ・ 患者	接触者 ・ 家族	その他	
令和 5 年度	—	—	—	—	—	—
令和 6 年度	1	21	6(2)	15	—	—
令和 7 年度	1	—	—	1	—	—
コレラ菌	—	—	—	—	—	—
赤痢菌	—	—	—	—	—	—
チフス菌	—	—	—	—	—	—
パラチフス A 菌	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 0157	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌型不明	1	—	—	1	—	—
結核菌：塗抹鏡検	—	—	—	—	—	—
培養	—	—	—	—	—	—
新型コロナウイルス	—	—	—	—	—	—

() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表 3 - (2) - ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分			計	食品	便	吐物	ふきとり	その他
	事案数							
令和 5 年度	9	検体数	173	12	130	—	31	—
		項目数	3,801	240	2,941	—	620	—
令和 6 年度	10	検体数	162	3	119	—	40	—
		項目数	3,420	3	2,617	—	800	—
令和 7 年度	16	検体数	160	—	148	—	12	—
		項目数	1,604	—	1,364	—	240	—
項目内訳	コレラ菌		58	—	46	—	12	—
	赤痢菌		58	—	46	—	12	—
	チフス菌		58	—	46	—	12	—
	パラチフス A 菌		58	—	46	—	12	—
	腸炎ビブリオ		58	—	46	—	12	—
	NAG ビブリオ		58	—	46	—	12	—
	ビブリオ ミミクス		58	—	46	—	12	—
	ビブリオ フルビアリス		58	—	46	—	12	—
	黄色ブドウ球菌		58	—	46	—	12	—
	サルモネラ属菌		58	—	46	—	12	—
	セレウス菌		58	—	46	—	12	—
	ウエルシュ菌		58	—	46	—	12	—
	カンピロバクター		58	—	46	—	12	—
	エルシニア エンテロコリチカ		58	—	46	—	12	—
	エロモナス フィドロフィア		58	—	46	—	12	—
	エロモナス ソブリア		58	—	46	—	12	—
	プレジオモナス シゲロイデス		58	—	46	—	12	—
	下痢原性大腸菌		58	—	46	—	12	—
	腸管出血性大腸菌 0157		58	—	46	—	12	—
	腸管出血性大腸菌 026		58	—	46	—	12	—
	ノロウイルス		148	—	148	—	—	—
	ロタウイルス		148	—	148	—	—	—
	アデノウイルス		148	—	148	—	—	—
	大腸菌群		—	—	—	—	—	—
	細菌数 (生菌数)		—	—	—	—	—	—
	その他 ()		—	—	—	—	—	—
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌		—	—	11	—	—	—
	ウエルシュ菌		—	—	1	—	—	—
	カンピロバクター		—	—	4	—	—	—
	ノロウイルス		—	—	68	—	—	—
	ロタウイルス		—	—	5	—	—	—

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表 4－(1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数（生菌数）	42
繰り返し試験	細菌数（生菌数）	5
	牛乳理化学	4
陽性対照	大腸菌群の有無	21
	黄色ブドウ球菌	17
	サルモネラ属菌	14
	腸炎ビブリオ	5
	E. coli	2
	腸内細菌科菌群	—
	腸管出血性大腸菌 0157	14
	腸管出血性大腸菌 026	—
	腸管出血性大腸菌 0111	—
	腸管出血性大腸菌 0103	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—
	腸管出血性大腸菌 0145	—

(2) 外部精度管理

表 4－(2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人食品薬品安全センター	大腸菌群 一般細菌数 黄色ブドウ球菌 E. coli サルモネラ属菌 腸内細菌科菌群 ウエルシュ菌
千葉県衛生研究所	腸内細菌科細菌の菌種同定 （腸管出血性大腸菌/サルモネラ属菌） ノロウイルス（リアルタイム PCR）